



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.33

## 「お子さまを寝かしつけるときにすることは何ですか？」

ポイントは家族の体温と声 女児より男児の方が甘えん坊？

この調査は雑誌誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者を対象としたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

**【調査概要】**

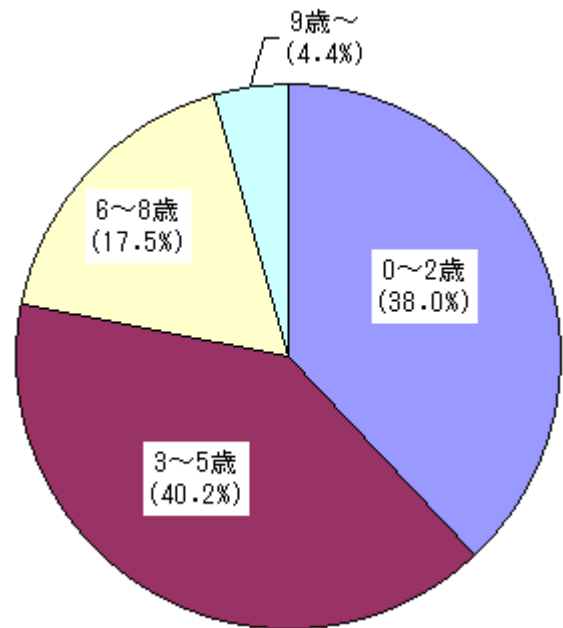
調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集

実施時期：1997年12月

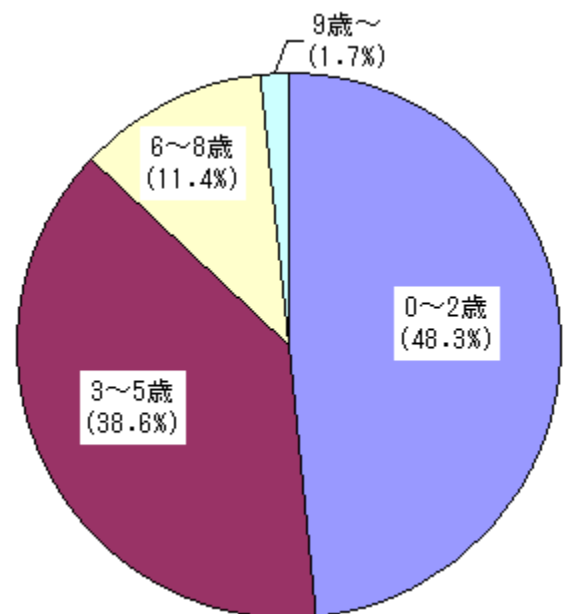
質問内容：お子さまを寝かしつけるときにすることは何ですか？

有効回答数：405人

★男 児★	
年齢内訳	0～2歳 87人
	3～5歳 92人
	6～8歳 40人
	9歳～ 10人
	<hr/>
計	229人

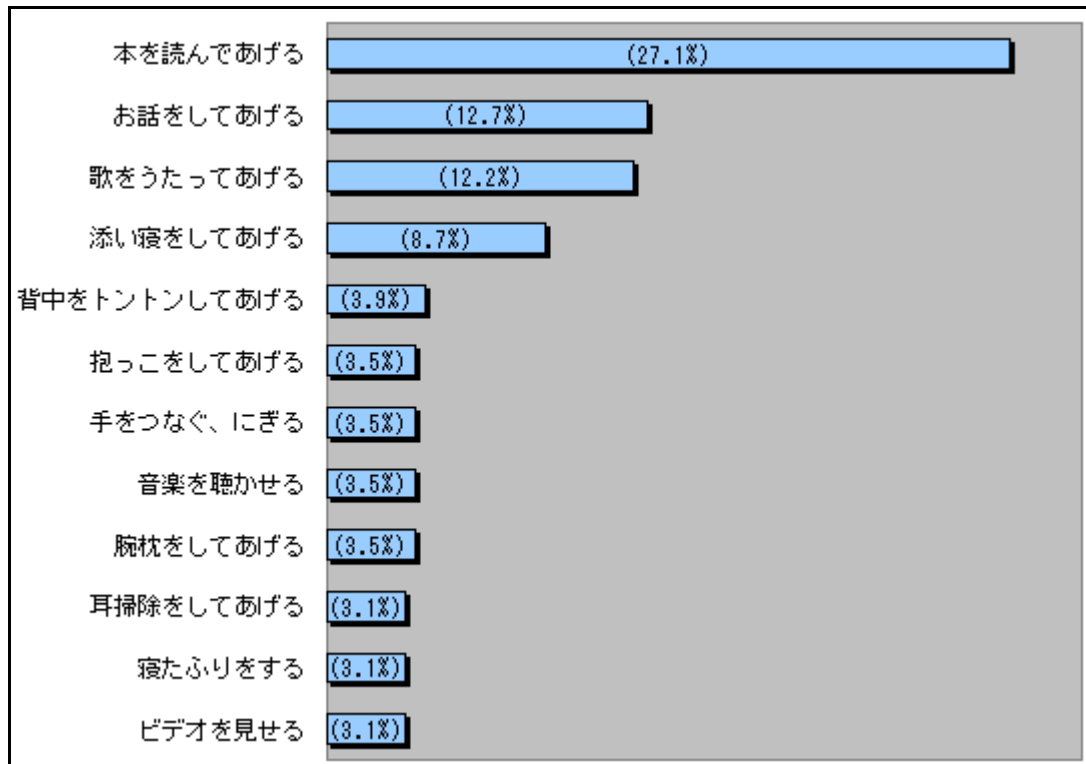


★女 児★	
年齢内訳	0～2歳 85人
	3～5歳 68人
	6～8歳 20人
	9歳～ 3人
	<hr/>
計	176人

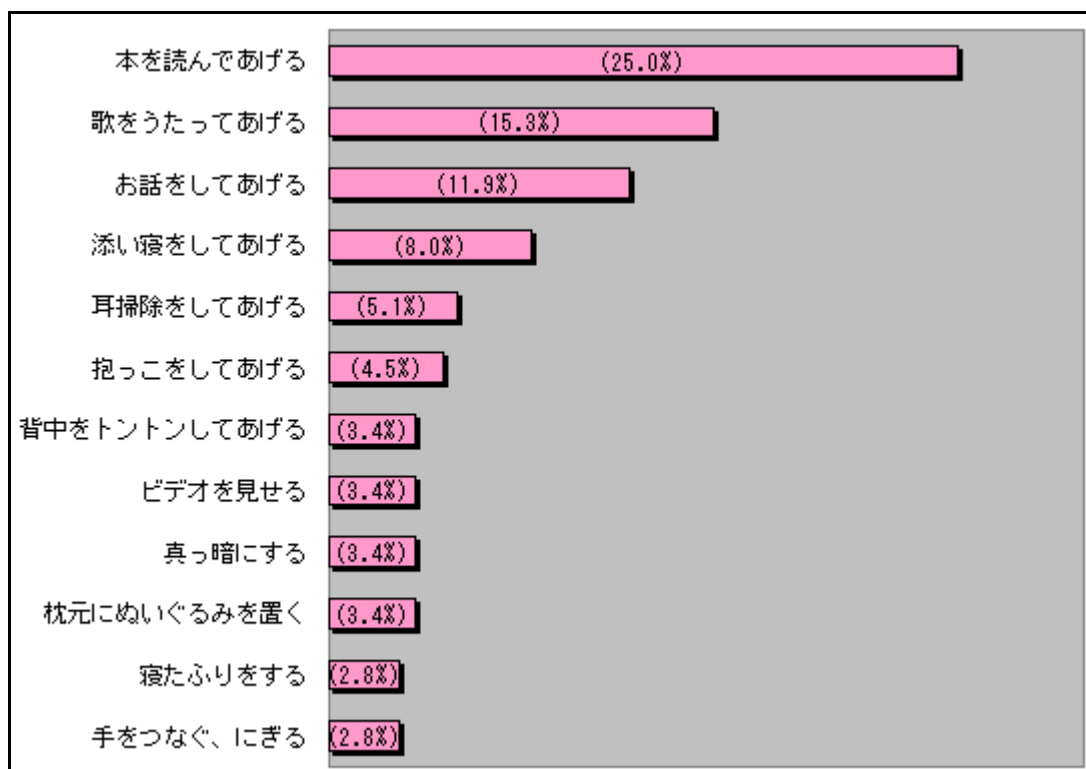


## アンケート総合結果（複数回答含む）

### ★男児結果（229人中）



### ☆女兒結果（176人中）



# アンケート結果より

## ★家族の体温と声で眠りにつく子どもたち

寝かしつけ方に男女で差はなく、本を読む、お話をする、歌をうたうなど、何らかの方法で“声を聞かせてあげる”という回答が上位を占めた。

このほか、添い寝する、背中をトントンする、抱っこをする、手をつなぐなど、身体を子どもとくっつけて寝かしつける回答も多く見られた。

家族の体温を感じ、声を聞くことで、子どもが安心して眠れることがうかがえる。

また、お話をするという回答が上位にきていることから、寝かしつける時が家族のコミュニケーションの場のひとつになっているようだ。

## ★子どもを寝かしつけるのは母親の仕事

アンケートはがきによると、子どもを寝かしつけるのは母親の場合が圧倒的に多い。仕事の分担で母親の役目となっているのか、寝かしつける時間に父親が帰宅していないのかははっきりしない。子どもを寝かしつけているうちに、母親もうっかり一緒に眠ってしまうと書かれたはがきも多く、一日中子どもの面倒を見ている母親は大変なようだ。

## ★男児は意外に甘えん坊？

今回の結果がたまたまそうなったのかもしれないが、意外なことに、年齢が上がっても添い寝をするという回答は男児の方が多い。

男児の方が甘えん坊ということなのだろうか。それとも寝かしつけるのが母親であることが多いことと関係があるのだろうか。

## ★工夫を凝らして寝かしつける

男女とも上位に耳掃除が入っているのがおもしろい。気持ちよくなることで眠くなるのだろうか。このほかにも、子どもを騒がせたり、ふとんでプロレスをしたり、長時間お風呂に入れることで疲れさせて眠らせるというユニークな回答もあった。

子どもが眠るまで家族はゆっくりできない。あれこれ工夫を凝らして子どもを寝かしつける様子がかがえる。

## 年齢別集計結果（複数回答含む）

### ★0～2歳 男児（87人中）

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 1. 歌をうたってあげる    | 18.4% |
| 2. 本を読んであげる     | 14.9% |
| 3. 背中をトントンしてあげる | 10.3% |
| 4. 添い寝をしてあげる    | 9.2%  |
| 抱っこをしてあげる       | 9.2%  |
| ビデオを見せる         | 9.2%  |

### ☆0～2歳 女児（85人中）

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 1. 歌をうたってあげる    | 22.4% |
| 2. 添い寝をしてあげる    | 11.8% |
| 本を読んであげる        | 11.8% |
| 4. 抱っこをしてあげる    | 9.4%  |
| 5. 背中をトントンしてあげる | 7.1%  |
| 6. お話をしてあげる     | 7.1%  |

### ★3～5歳 男児（92人中）

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 本を読んであげる  | 35.9% |
| 2. お話しをしてあげる | 21.7% |
| 3. 歌をうたってあげる | 9.8%  |
| 4. 手をつなぐ、にぎる | 5.4%  |
| 添い寝をしてあげる    | 5.4%  |
| 寝たふりをする      | 5.4%  |

### ☆3～5歳 女児（68人中）

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. 本を読んであげる    | 39.7% |
| 2. 耳掃除をしてあげる   | 10.3% |
| 歌をうたってあげる      | 10.3% |
| 4. お話をしてあげる    | 8.8%  |
| 5. 枕元にぬいぐるみを置く | 8.8%  |

### ★6～8歳 男児（40人中）

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1. 本を読んであげる  | 27.5% |
| 2. 添い寝をしてあげる | 17.5% |
| 3. 歌をうたってあげる | 7.5%  |
| 手をつなぐ、にぎる    | 7.5%  |
| お話をしてあげる     | 7.5%  |

### ☆6～8歳 女児（20人中）

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. 本を読んであげる | 35.0% |
| お話をしてあげる    | 35.0% |

### ★9歳以上 男児（10人中）

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. 本を読んであげる | 50.0% |
|-------------|-------|

### ☆9歳以上 女児（3人中）

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. お話をしてあげる | 66.7% |
|-------------|-------|

※ 男女とも9歳以上になると、1人で寝たり兄弟と寝たりする機会が多いためか、これまでの「バンダイこどもアンケート」に比べて、回答数は非常に少ないものでした。

※ このアンケートレポートに関して「子ども調査研究所」の渡部尚美さんから、以下のコメントをいただいております。

■ お子様を寝かしつけるときにすること

結婚を間近にひかえた若い女性のことです。「小さい頃、私が眠る前にお父さんがよく話してくれたあのお話の結末が知りたいな。自分のこどもができた時に、そのお話を聞かせてあげたいから」。何度も聞かせてもらった話で、はじめの部分はよく覚えているのですが、途中から結末にかけてがどうしても思い出せないのです。

これを聞いたお父さんはびっくりしたそうです。何度も何度もくりかえして聞かせたお話ですから、当然娘はその話の結末を覚えているだろうと思っていたのです。結局のところ、その女性はこどもの頃、毎回お話の途中で寝入っていたので、本当にお話の結末までを一度も聞いたことがなかったのです。

こどもは毎日のように、朝、目覚めた時「ここはどこ？」という顔を一瞬見せます。見知ったわが家の自分の寝床であることを確認すると安心して、そうして新しい一日がいつものようにはじまります。そして、楽しい一日が終わって眠くなりますが、まるで楽しい一日に別れをつけるのが辛いかのようにグズったり、親にお話や歌をせがむのです。

こどもにとって（あるいは大人にとっても）＜眠る＞ということは、暗闇の世界に一人で入っていくことではないでしょうか。どんな親しい肉親であっても、こどもが眠りに入っていくトンネルと一緒にくぐることはできません。そして、翌朝目覚めた時にこどもは、新しい自分の新しい一日を生きはじめるのです。

このように私たちは、＜生＞と＜死＞のサイクルの中を毎日生きています。＜生まれて、死ぬ＞という大きなサイクルから、＜朝起きて、夜眠る＞という一日ごとのサイクル、＜息を吸って、吐く＞という瞬間のサイクルに至るまで死と再生のドラマの中にいると考えられます。

そうしたことをこどもは直感で知っているので、一人で寝入るよりも、肉親の存在（声、鼓動、体温、におい等）がそばにいてくれることで、安心して夢の世界に旅立っていけるのでしょう。ですから、こどもにとって「お話」は、＜私が眠るまでお父さんやお母さんが一緒にいてくれる＞ことを保証してくれる大切なものなのです。たとえ、お話の結末まで聞けなかったとしても。